

2024年度第2四半期決算概要 および2024年度業績予想

2024/8/7

 **住友重機械工業株式会社**
社長 下村 真司

INDEX

01

2024年度第2四半期決算概要

02

2024年度業績予想

03

中期経営計画2026（中計26）進捗

01

2024年度第2四半期決算概要

**2024年度
第2四半期
実績**
/前年同期（増減）

受注高 : 4,531億円 / 5,127億円 (△595億円)

売上高 : 5,204億円 / 5,101億円 (103億円)

営業利益 : 333億円 / 307億円 (27億円)

前年同期比

- ・ **市場環境** : 国内は半導体市況の持ち直しの動きに足踏み
欧州は金融引き締めによる悪化が継続
中国は需要の低迷が続き、東南アジアにも波及
- ・ **受注高** : ショベルにおける在庫調整や半導体関連の需要減等により減少
- ・ **売上高** : メカトロニクスおよびインダストリアルマシナリーにおいて減少あるも、
全社的に為替差による好転に加え、
ロジスティクス&コンストラクションおよびエネルギー&ライフライン
にて受注残を売上につなげ前年比増
- ・ **営業利益** : 売上の増加と為替差により前年比増

01

2024年度 第2四半期 決算概要

	2023年度			2024年度			24上-23上 増減
	1Q(1-3月) 実績	2Q(4-6月) 実績	上期 実績	1Q(1-3月) 実績	2Q(4-6月) 実績	上期 実績	
単位：億円							
受注高	2,600	2,527	5,127	2,211	2,320	4,531	△595
売上高	2,482	2,618	5,101	2,548	2,655	5,204	103
営業利益	162	145	307	184	149	333	27
営業利益率	6.5%	5.5%	6.0%	7.2%	5.6%	6.4%	-
経常利益	164	165	329	188	151	339	10
経常利益率	6.6%	6.3%	6.4%	7.4%	5.7%	6.5%	-
特別損益	△1	△2	△3	△2	△2	△4	△1
親会社株主純利益	108	117	225	136	99	235	10
親会社株主利益率	4.4%	4.5%	4.4%	5.3%	3.7%	4.5%	-
1株当たり配当			60円			60円	-
為替レート(ドル)			¥136			¥154	-

01

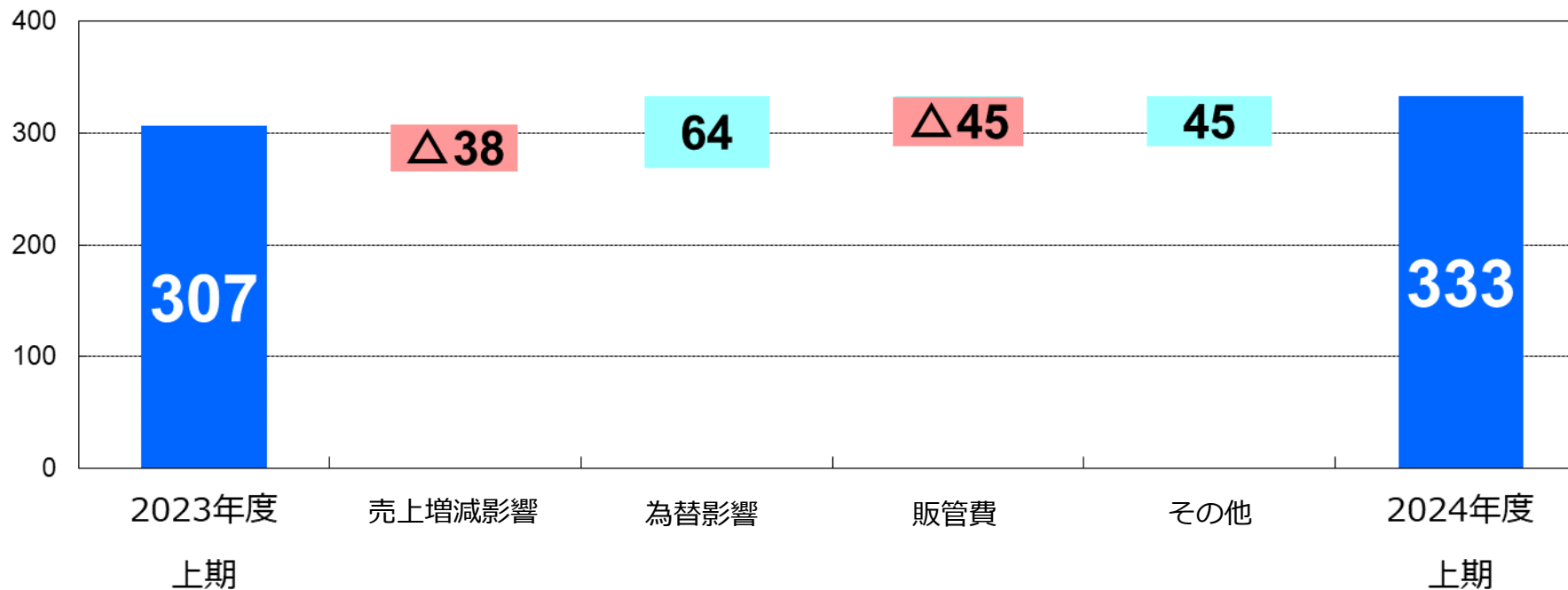
2024年度 第2四半期 セグメント別業績

単位：億円	受注高			売上高			営業利益				
	2023年度 上期 実績	2024年度 上期 実績	増減	2023年度 上期 実績	2024年度 上期 実績	増減	2023年度 上期 実績 /営業利益率(%)		2024年度 上期 実績 /営業利益率(%)		増減
メカトロニクス	1,057	987	△70	1,069	1,010	△59	58	5.5	18	1.8	△40
(プラスチック加工機械)	432	414	△18	509	423	△86					
(その他)	973	850	△123	830	888	58					
インダストリアル マシナリー	1,405	1,264	△141	1,339	1,311	△28	112	8.4	91	6.9	△22
(油圧シヨベル)	1,130	771	△359	1,125	1,130	5					
(その他)	841	901	59	724	832	109					
ロジスティクス & コンストラクション	1,972	1,672	△300	1,849	1,962	113	123	6.7	180	9.2	56
エネルギー&ライフライン	664	577	△86	813	888	74	4	0.5	36	4.0	32
その他	29	31	2	30	33	2	9	-	9	-	0
合計	5,127	4,531	△595	5,101	5,204	103	307	6.0	333	6.4	27

01

2024年度 第2四半期 営業利益増減分析

単位：億円



<売上増減影響 セグメント別内訳> 単位：億円

メカトロニクス	△37
インダストリアル マシナリー	△6
ロジスティックス&コンストラクション	2
エネルギー&ライフライン	3

<販管費>

・人件費、研究開発費などが増加

<その他>

・船舶事業の改善 +24億円

01

連結貸借対照表

単位：億円	2023/12末	2024/6末	増減
流動資産	7,483	7,797	314
現預金	1,045	1,039	△6
売上債権	2,899	2,765	△134
棚卸資産	3,211	3,641	430
その他	329	352	23
固定資産	4,526	4,771	245
有形固定資産	3,300	3,500	199
無形固定資産	456	484	28
投資その他の資産	770	787	18
資産合計	12,009	12,568	559

単位：億円	2023/12末	2024/6末	増減
負債	5,734	5,894	160
買掛債務	1,808	1,700	△109
有利子負債	1,622	1,956	334
その他	2,303	2,239	△65
純資産	6,275	6,674	399
株主資本	4,885	4,946	61
その他の包括利益累計額	1,313	1,657	344
非支配株主持分	77	71	△6
負債・純資産合計	12,009	12,568	559
ネット有利子負債比率	4.8%	7.3%	2.5%
自己資本比率	51.6%	52.5%	0.9%

01

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

区 分	2024年度 上期
営業活動	117
税金等調整前当期純利益	335
減価償却費	186
運転資本	△229
その他（税金等）	△175
投資活動	△238
（フリーキャッシュ・フロー）	△121
財務活動	86
現金・現金同等物増減	1
現金・現金同等物期末残高	1,003

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 上期
フリー キャッシュ・ フロー（億円）	△215	204	120	△159	221	△121
債務償還年数 （年）*1	3.4	1.9	1.8	7.5	2.5	
インタレスト・ カバレッジ・ レシオ（倍）*2	30.5	66.2	81.8	20.0	27.1	

*1 有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

*2 営業キャッシュフロー÷利払い

02

2024年度業績予想

02

2024年度 業績予想

<p>2024年度 予想 /前回予想(24年2月時点)、 (増減)</p>	<p>受注高 : 10,300億円 / 11,200億円 (△900億円)</p> <hr/> <p>売上高 : 10,700億円 / 11,100億円 (△400億円)</p> <hr/> <p>営業利益 : 650億円 / 700億円 (△50億円)</p>
<p>前回予想 (24年2月時点)比</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受注高 : 油圧ショベルにおける北米での在庫調整やエネルギープラント案件の減少、また半導体関連の市況回復遅れにより減少 ・ 売上高 : 受注減を受け、ロジスティクス&コンストラクションを中心に減少 ・ 営業利益 : 為替変動による好転あるも、売上減を受け減少
<p>トピック・ 市況認識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内は市況回復に向かう事業領域もあるが、そのペースは想定を下回り、停滞が続く事業あり。北米は設備投資が底堅く推移する中、中国は景気減速による停滞が続く。欧州も金融引き締めによる景気低迷から脱せず、需要低迷継続 ■ 地政学リスクによる不透明さに加え、各国金融政策による経済成長鈍化懸念あり

02

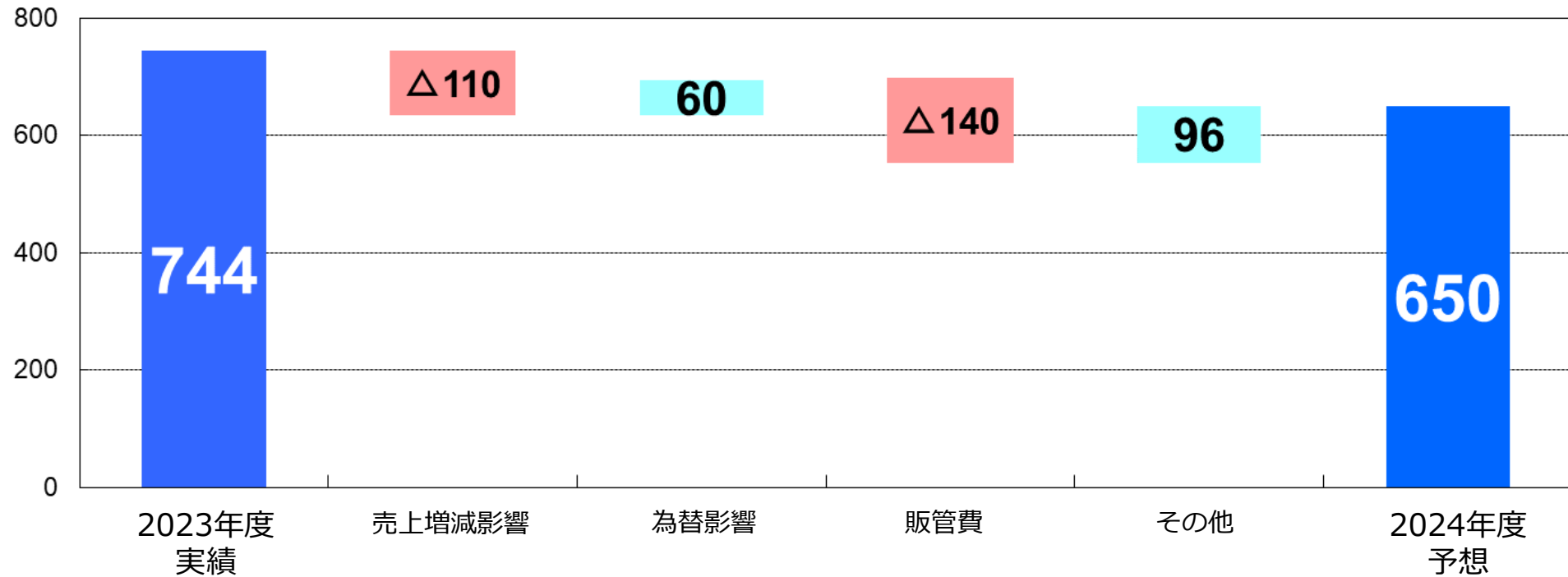
2024年度 業績予想

単位：億円	2023年度 上期 実績 (2023.1-2023.6)	2024年度 上期 実績 (2024.1-2024.6)	2023年度 実績 (2023.1-2023.12)	(参考)2024年度 予想(24年2月時点) (2024.1-2024.12)	2024年度 予想(24年8月時点) (2024.1-2024.12)
	受注高	5,127	4,531	10,087	11,200
売上高	5,101	5,204	10,815	11,100	10,700
営業利益	307	333	744	700	650
営業利益率	6.0%	6.4%	6.9%	6.3%	6.1%
経常利益	329	339	702	660	610
経常利益率	6.4%	6.5%	6.5%	5.9%	5.7%
特別損益	△3	△4	△188	△50	△50
親会社株主純利益	225	235	327	410	380
親会社株主利益率	4.4%	4.5%	3.0%	3.7%	3.6%
1株当たり配当	60円	60円	120円	125円	125円
総還元性向			44.9%	61.7%	65.9%
ROIC(税引後)			7.0%	6.2%	5.6%
【参考】ROE			5.5%	6.5%	6.0%
為替レート(ドル)	¥136	¥154	¥139	¥135	¥145

02

2023年度／2024年度 営業利益増減分析

単位：億円



<売上増減影響 セグメント別内訳>

単位：億円

メカトロニクス	△50
インダストリアル マシナリー	△10
ロジスティクス&コンストラクション	△40
エネルギー&ライフライン	△10

<販管費>









人件費、研究開発費などが増加

<その他>

船舶事業の改善 +25億

02

2024年度 事業環境見通し

製品／業界	24年8月 見通し	状況
変減速機		国内の受注環境は緩やかな回復基調。中国も市況低迷が継続 欧州は電機制御で顧客の在庫調整が長引くも下期回復へ向かう
プラスチック 加工機械		電気電子を中心に中国市場の回復は想定より鈍く、欧州は低調が続く 全般に下期より需要回復を見込む
油圧ショベル		国内、北米ともレンタル顧客にて新規発注への慎重姿勢が継続。リテールも弱含み 欧州、中南米および中国市場は景気低迷が続く
建設用クレーン		国内は緩やかに減速トレンド。北米の市況は堅調に推移
産業用クレーン		国内電力、製鉄、造船向けの更新需要、港湾荷役の省人化対応で堅調
エネルギー プラント		脱炭素加速によりバイオマス等燃転の需要が増すも、円安・燃料費上昇などで 案件の延期・中止が相次ぐ
半導体関連		半導体市況全般は底打ち回復へ向かうも、当社製品群の需要回復ペースは想定より遅れ メモリー系需要は上向くも、パワー系顧客にて投資先送り傾向が続く
自動車関連		自動車関連市況全体の回復基調は続くものの、コロナ前との比較ではまだ途上 足元でEV切り替え需要は減速

02

2024年度 セグメント別業績予想

	受注高			売上高			営業利益						
	2024年度 上期実績	(参考) 2024年度 予想 (24年2月時点)	2024年度 予想 (24年8月時点)	2024年度 上期実績	(参考) 2024年度 予想 (24年2月時点)	2024年度 予想 (24年8月時点)	2024年度 上期実績 /営業利益率(%)		(参考)2024年度 予想 (24年2月時点) /営業利益率(%)		2024年度 予想 (24年8月時点) /営業利益率(%)		
単位：億円													
メカトロニクス	987	2,210	2,100	1,010	2,130	2,100	18	1.8	100	4.7	75	3.5	
(プラスチック加工機械)	414	1,025	950	423	950	900							
(その他)	850	1,845	1,800	888	1,900	1,900							
インダストリアル マシナリー	1,264	2,870	2,750	1,311	2,850	2,800	91	6.9	260	9.1	220	7.9	
(油圧シヨベル)	771	2,600	2,000	1,130	2,710	2,350							
(その他)	901	1,590	1,700	832	1,570	1,600							
ロジスティクス & コンストラクション	1,672	4,190	3,700	1,962	4,280	3,950	180	9.2	315	7.4	310	7.9	
エネルギー&ライフライン	577	1,890	1,700	888	1,810	1,810	36	4.0	10	0.6	20	1.1	
その他	31	40	50	33	30	40	9	-	15	-	25	-	
合計	4,531	11,200	10,300	5,204	11,100	10,700	333	6.4	700	6.3	650	6.1	

02

メカトロニクス

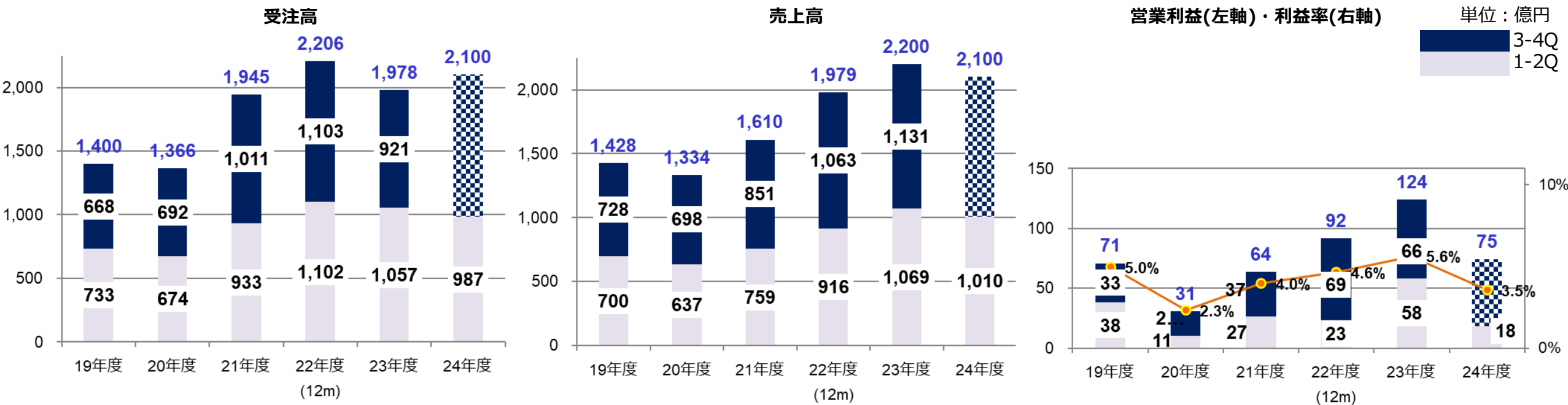
24上期：中小型の変減速機は国内市場が堅調に推移した一方、中国での市況低迷が継続。
またモータ、インバータでは、欧州での顧客の在庫調整の影響があり需要が減少したことから、
受注、売上、営業利益ともに減少。

24年度：受注は、下期より欧州、中国での回復を見込み増加。売上、営業利益は、主に欧州での電機制御の
在庫調整の影響により減少。

	2023年度		2024年度				24上-23上 増減
	上期実績 (23.1-23.6)	実績 (23.1-23.12)	上期実績 (24.1-24.6)	(参考)24年2月 予想 (24.1-24.12)	24年8月 予想 (24.1-24.12)	予想 増減	
単位：億円							
受注高	1,057	1,978	987	2,210	2,100	△110	△70
売上高	1,069	2,200	1,010	2,130	2,100	△30	△59
営業利益	58	124	18	100	75	△26	△40
営業利益率 (%)	5.5	5.6	1.8	4.7	3.5	-	-
受注残高		954	930				

02

メカトロニクス



<参考> ・ 変減速機 機種別売上構成 (概数)

	ギヤモータ (中型)	ギヤボックス (大型)	精密用途 (MCD)	サービス	電機制御	合計
2024年度 上期	40%	20%	10%	10%	20%	100%
2023年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%
2022年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%

02

インダストリアル マシナリー

<プラスチック加工機械>

24上期：中国の電気電子関連を中心に需要が停滞、欧州においても投資の冷え込みが継続したことから受注、売上、営業利益ともに減少。

24年度：受注は、下期から中国や国内中心に市況回復を見込み増加。売上、営業利益は受注の減少を受け減少。

<その他>

24上期：受注は、半導体市況の停滞に伴う顧客の在庫調整や投資先送りの影響などを受け減少。

売上、営業利益は、受注残が高い水準であったこともあり増加。

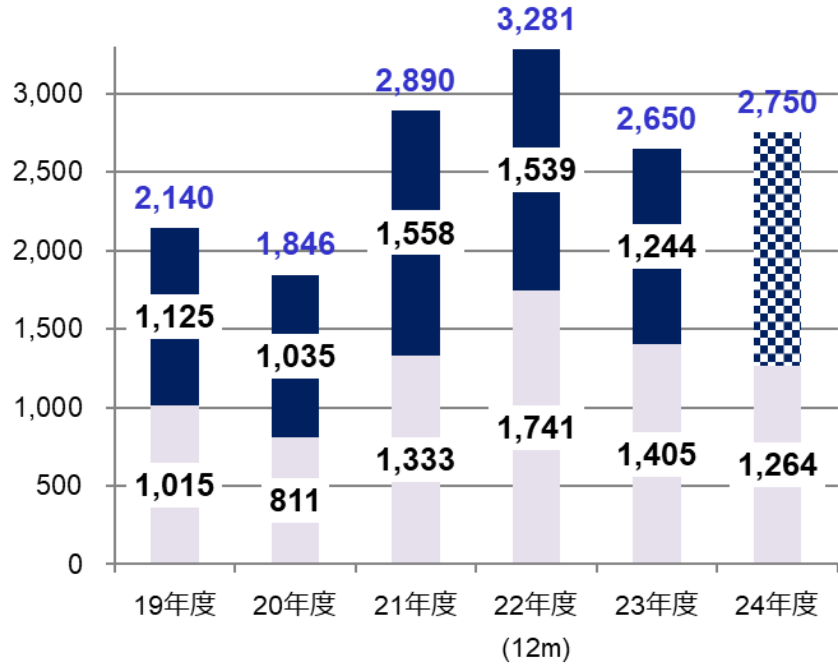
24年度：受注、売上は、下期より半導体市況底入れに伴い増加。営業利益は、機種構成の変化や固定費増加により減少。

	2023年度		2024年度			24上-23上 増減	
	上期 実績 (23.1-23.6)	実績 (23.1-23.12)	上期 実績 (24.1-24.6)	(参考)24年2月 予想 (24.1-24.12)	24年8月 予想 (24.1-24.12)		予想 増減
単位：億円							
プラスチック加工機械	432	893	414	1,025	950	△75	△18
その他	973	1,756	850	1,845	1,800	△45	△123
受注高	1,405	2,650	1,264	2,870	2,750	△120	△141
プラスチック加工機械	509	971	423	950	900	△50	△86
その他	830	1,828	888	1,900	1,900	0	58
売上高	1,339	2,798	1,311	2,850	2,800	△50	△28
営業利益	112	256	91	260	220	△40	△22
営業利益率 (%)	8.4	9.1	6.9	9.1	7.9	-	-
受注残高		1,842	1,794				

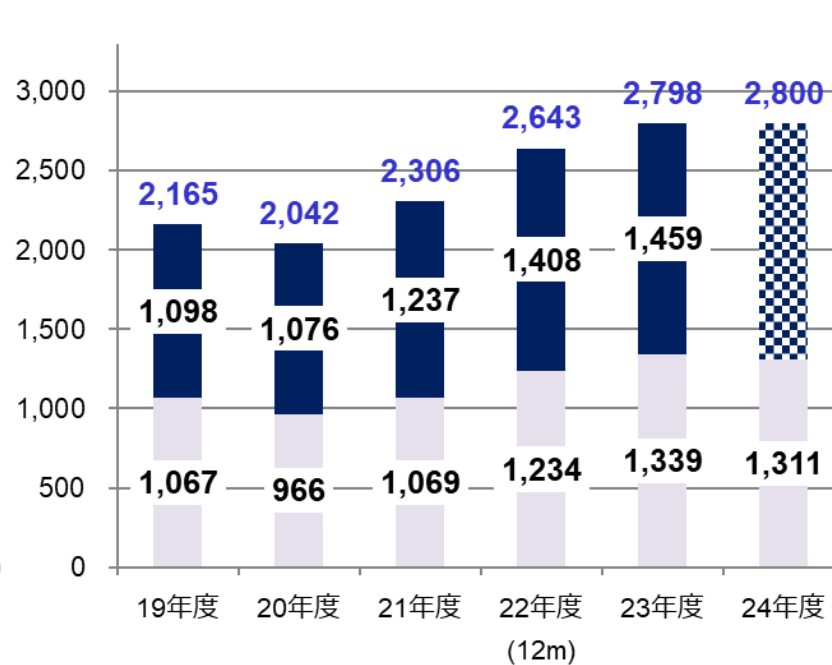
02

インダストリアル マシナリー

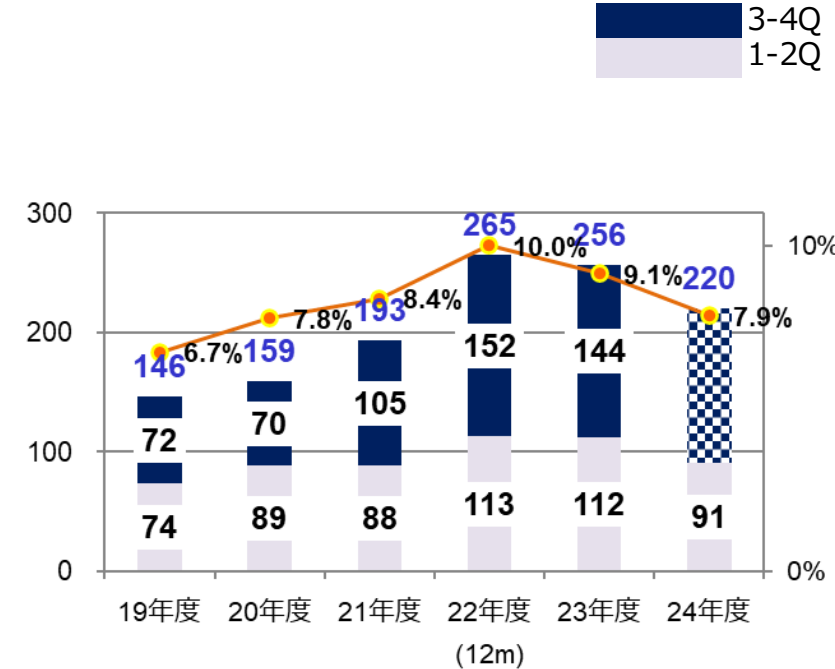
受注高



売上高



営業利益(左軸)・利益率(右軸)



単位：億円

■	3-4Q
■	1-2Q

<参考> ・ 射出成形機 売上業種別構成 (概数)

	電気・電子 関連	自動車	医療・食品 容器・雑貨	その他	合計
2024年度 上期	20%	20%	50%	10%	100%
2023年度	15%	20%	55%	10%	100%
2022年度	20%	15%	50%	15%	100%

・ 半導体製造装置 (イオン注入装置) 業績 (概数)

単位: 億円	2022年 実績	2023年度		2024年度	
		上期 実績	実績	上期 実績	予想
受注	660	350	550	182	395
売上	500	210	510	267	540

02

ロジスティックス&コンストラクション

<油圧ショベル>

24上期：受注は、国内にて前期の価格改定前の駆け込み受注がなくなったことや、米国での前期先行発注の反動減などにより減少。売上は、米国にて台数減少するも為替差あり増加。営業利益は国内での価格改定効果もあり増加。

24年度：受注、売上は、米国の在庫調整により減少。営業利益は、固定費減少、為替差あり増加。

<その他>

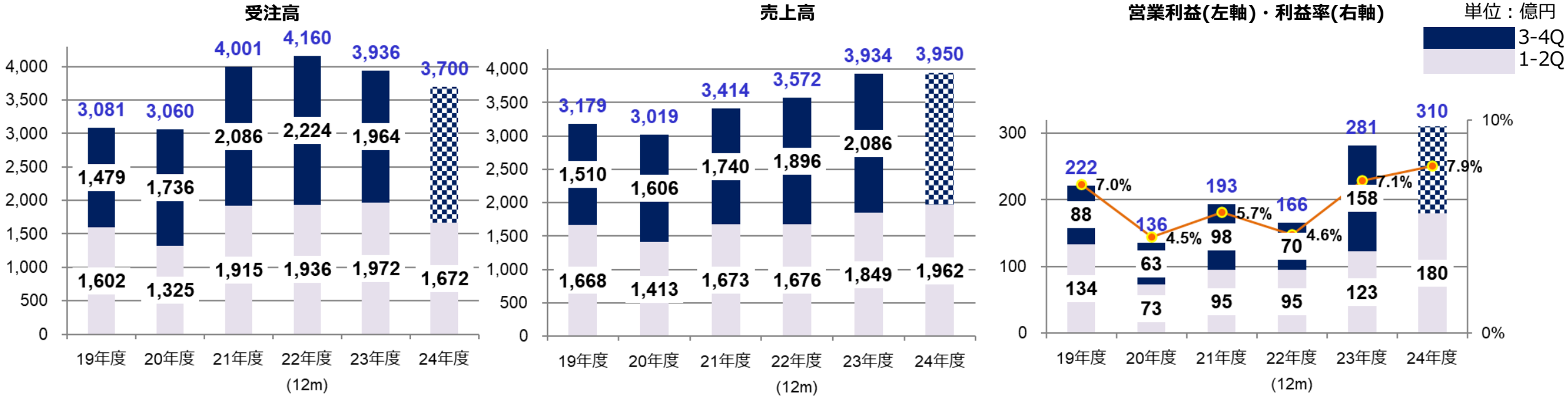
24上期：建設用クレーンは、北米、国内とも需要が底堅く推移したことから受注、売上、営業利益とも増加。

産業用クレーンは、製鉄や造船向け大型案件があり受注は増加。売上、営業利益はほぼ前年並み。

24年度：受注は産業用クレーンの案件減により減少。売上、営業利益は北米向け建設用クレーン増加により増加。

	2023年度		2024年度			24上-23上 増減	
	上期 実績 (23.1-23.6)	実績 (23.1-23.12)	上期 実績 (24.1-24.6)	(参考)24年2月 予想 (24.1-24.12)	24年8月 予想 (24.1-24.12)		予想 増減
単位：億円							
油圧ショベル	1,130	2,125	771	2,600	2,000	△600	△359
その他	841	1,811	901	1,590	1,700	110	59
受注高	1,972	3,936	1,672	4,190	3,700	△490	△300
油圧ショベル	1,125	2,424	1,130	2,710	2,350	△360	5
その他	724	1,510	832	1,570	1,600	30	109
売上高	1,849	3,934	1,962	4,280	3,950	△330	113
営業利益	123	281	180	315	310	△5	56
営業利益率 (%)	6.7	7.1	9.2	7.4	7.9	-	-
受注残高		2,614	2,324				

02 ロジスティクス&コンストラクション



<参考>・油圧ショベル 地域別需要/売上高推移 (概数)

単位：万台(上段)/億円(下段)		北米	欧州	アジア (除く中国)	中国※	日本	その他	合計
2024年度	需要予想	4.2	3.2	2.2	1.2	2.7	-	
	売上高	376	72	166	29	433	54	1,130
2023年度	需要	4.3	4.0	2.3	1.0	2.5	-	
	売上高	356	119	133	34	396	88	1,125
2022年度	需要	4.2	4.3	2.6	2.2	2.6	-	
	売上高	584	166	331	134	737	161	2,114

※外資のみ

・産業用クレーン 業種別受注構成 (概数)

	電力	鉄鋼	造船	港湾	その他	合計
2024年度 上期	0%	55%	40%	0%	5%	100%
2023年度	0%	20%	10%	60%	10%	100%
2022年度	20%	30%	30%	10%	10%	100%

・建設用クレーン (国内) 業績 (概数)

単位：億円	2022年 実績	2023年度		2024年度	
		上期 実績	実績	上期 実績	予想
受注	450	220	450	220	440
売上	410	200	430	210	460

02

エネルギー&ライフライン

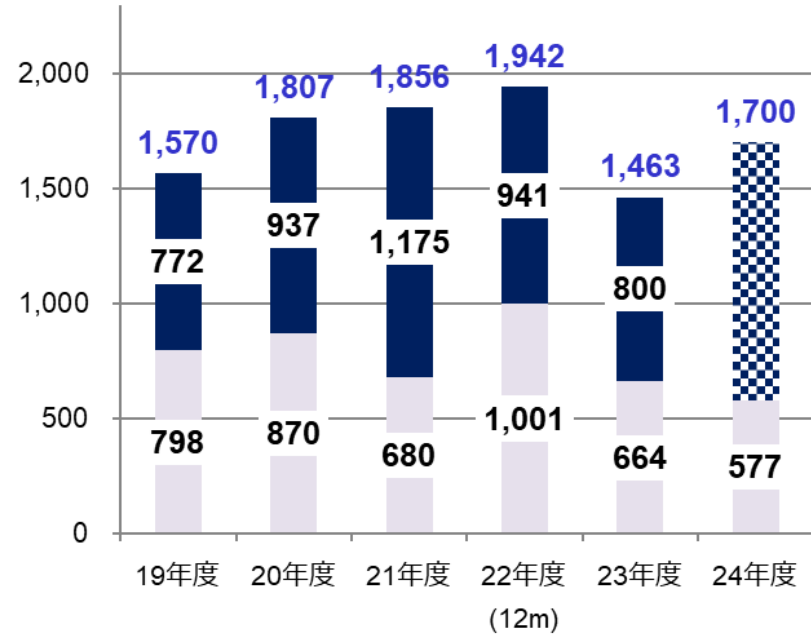
- 24上期**：エネルギープラントは、欧州でのサービス案件の減少により受注は減少するも、売上は案件の工事進捗差により増加、営業利益は開発費の増加により微減。
その他の事業は、24年度以降の新造船の受注を停止したことなどから受注は減少。売上は、当期売上対象となる案件が少なかったことから減少したものの、個別採算の改善等により営業利益は増加。
- 24年度**：エネルギープラントは、バイオマス発電設備の新規案件を織り込み受注は増加。売上は、当期売上対象の減少により減少。営業利益はLAES事業化へ向けた開発費増加により減少。
その他の事業は、受注は新造船の受注停止を受け減少するも、売上、営業利益は増加。

	2023年度		2024年度				24上-23上 増減
	上期実績 (23.1-23.6)	実績 (23.1-23.12)	上期実績 (24.1-24.6)	(参考)24年2月 予想 (24.1-24.12)	24年8月 予想 (24.1-24.12)	予想 増減	
単位：億円							
受注高	664	1,463	577	1,890	1,700	△190	△86
売上高	813	1,822	888	1,810	1,810	1	74
営業利益	4	63	36	10	20	10	32
営業利益率 (%)	0.5	3.5	4.0	0.6	1.1	-	-
受注残高		2,304	1,993				

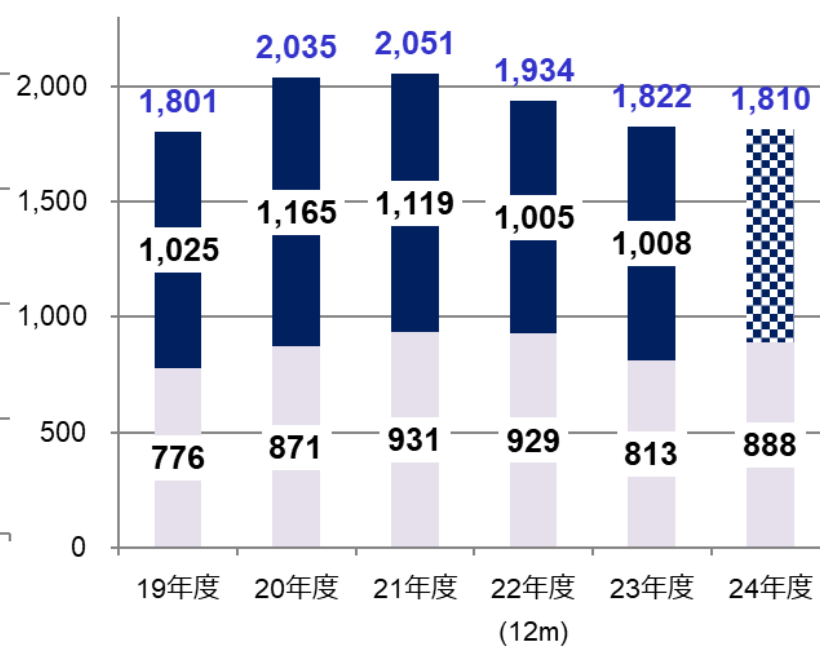
02

エネルギー＆ライフライン

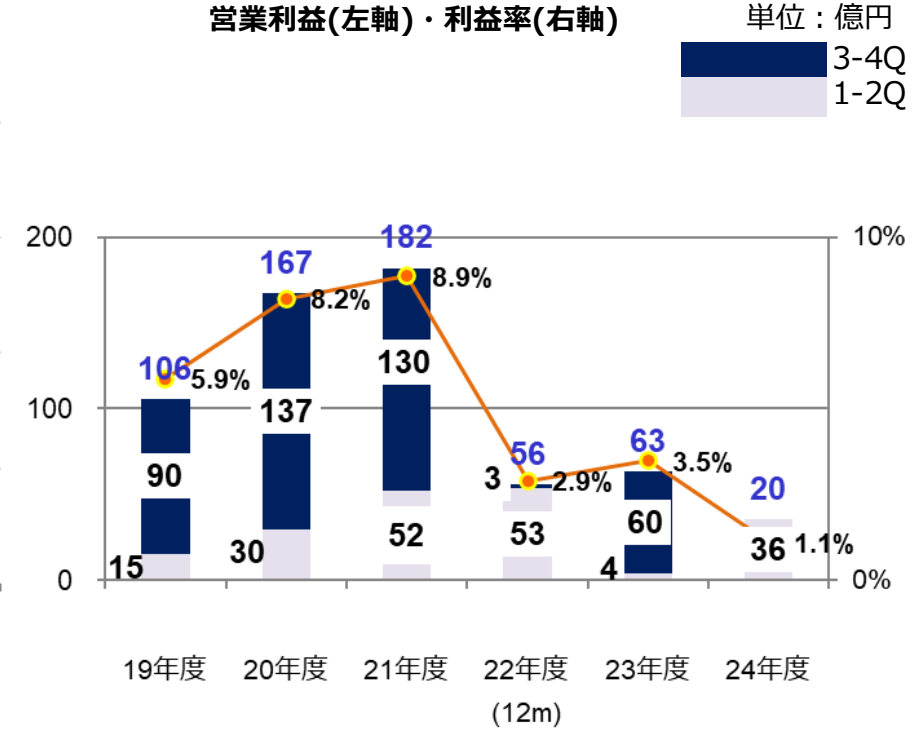
受注高



売上高



営業利益(左軸)・利益率(右軸)

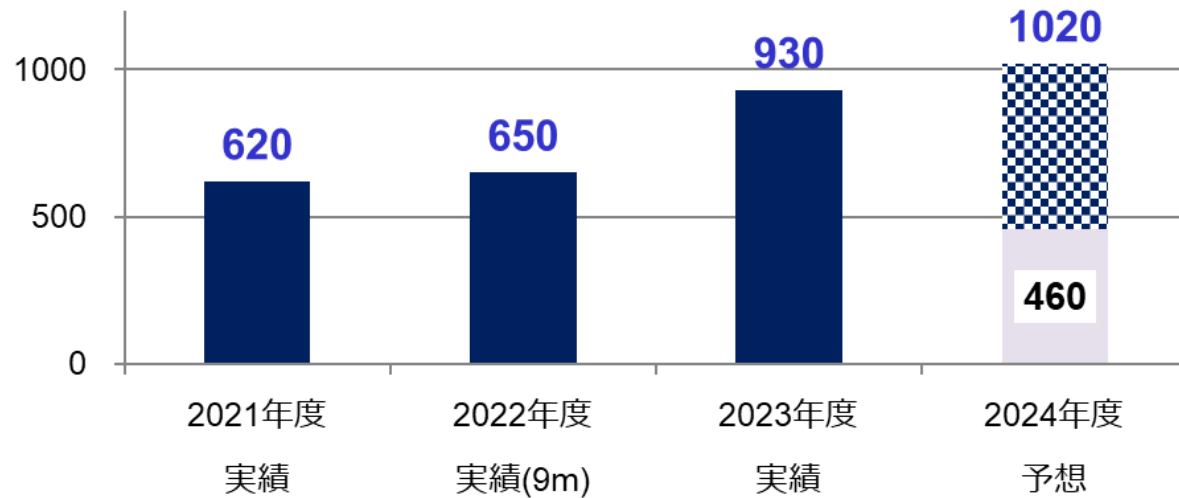


02

半導体関連事業 売上

半導体関連事業 売上額合計（概数）

単位：億円



当社が保有する半導体分野向け製品とキーテクノロジー

製品	所属セグメント	キーテクノロジー		
		ビーム制御	極低温	真空
レーザーアニール装置	メカトロニクス	◎		
イオン注入装置	インダストリアルマシナリー	◎		○
イオン照射事業		◎		○
MCZ用超電導マグネット			◎	○
4KGM冷凍機/クライオポンプ			◎	◎
真空ロボット				◎

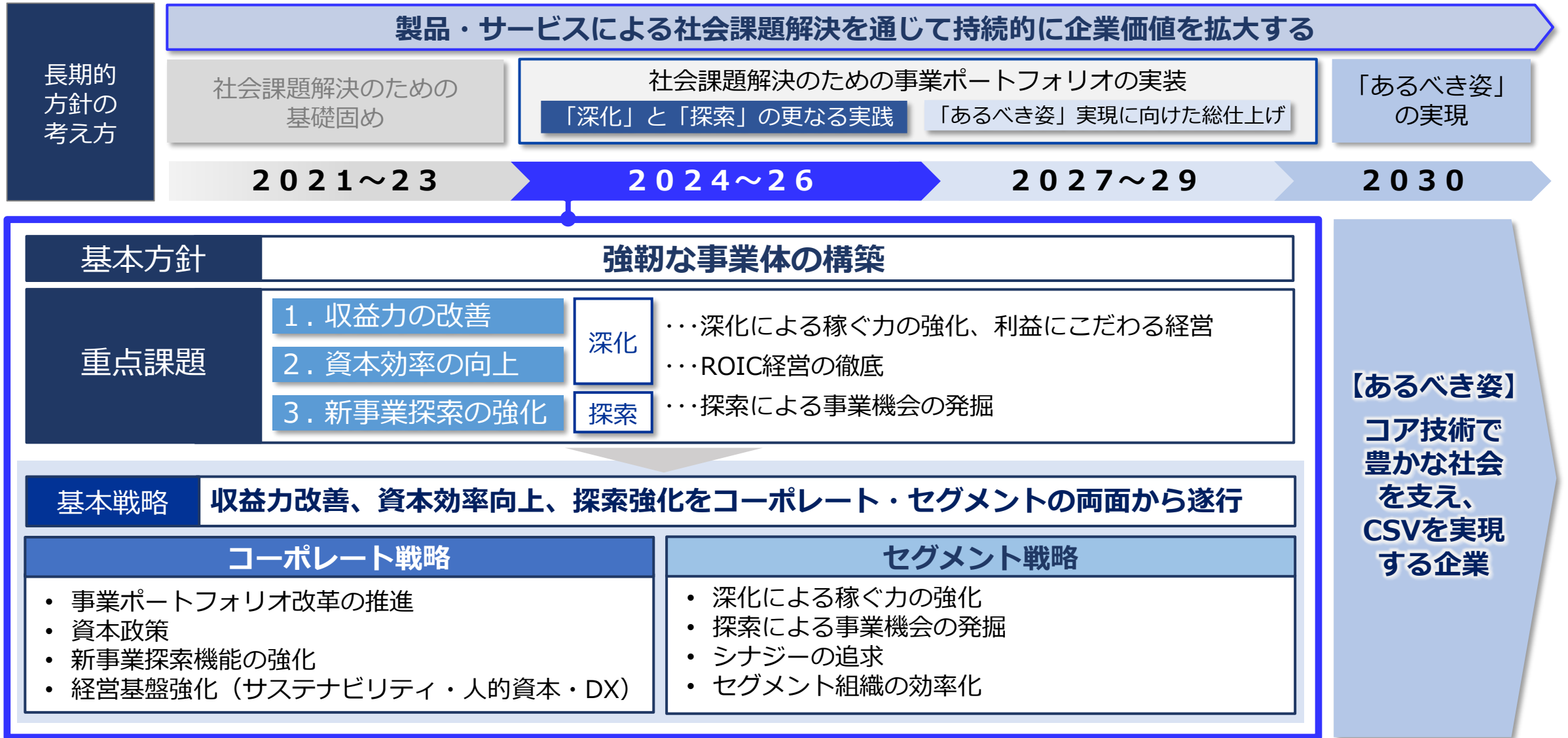
キーテクノロジーとの関係性（◎：大 ○：中）

03

中期経営計画2026進捗

03

「中期経営計画2026」 基本方針および骨子



03

「中期経営計画2026」 基本戦略（コーポレート戦略）

コーポレート戦略

※について28、29ページで説明

戦略		2024年度上期実施状況
<ul style="list-style-type: none"> 事業ポートフォリオ改革の推進 		<ul style="list-style-type: none"> 造船事業の再構築に関して、新造船の受注停止済み <ul style="list-style-type: none"> - 横須賀製造所においてコンテナクレーン製造中 - エネルギー&ライフラインセグメントで、洋上風力事業推進プロジェクト設立 業務の効率化と新ビジネス拡大のため、住友重機械精機販売(株)の統合を完了 生産効率や品質の向上等を図るため、住重特機サービス(株)の統合を決定
<ul style="list-style-type: none"> 資本政策 		<ul style="list-style-type: none"> 2024年3月から自己株式取得を開始、2024年6月に今年度予定した100億円の自己株式取得を完了
<ul style="list-style-type: none"> 新事業探索機能の強化 	※1	<ul style="list-style-type: none"> 北米に先進技術調査および新規事業探索・創出を目的としたボストンオフィスを2024年4月に開設
<ul style="list-style-type: none"> 経営基盤強化 (サステナビリティ・人的資本・DX) 	※2	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ：パーパス策定、人権デュー・ディリジェンス（DD）実施、取締役会の実効性評価・公表 人的資本：さらなる人材育成強化のため2024年1月に人材育成センターを設立 グローバル対応力向上のため、グローバルタレントプログラムを新設 DX：造船業界の生産性向上を支援するDXツール「SIRMS」の提供開始 SHIクラウド（SHICuTe）強化の一環としてIoTデータ収集の省力化を図るシステム開発に着手 新たに7テーマを対象にDXプロジェクト支援を開始

03

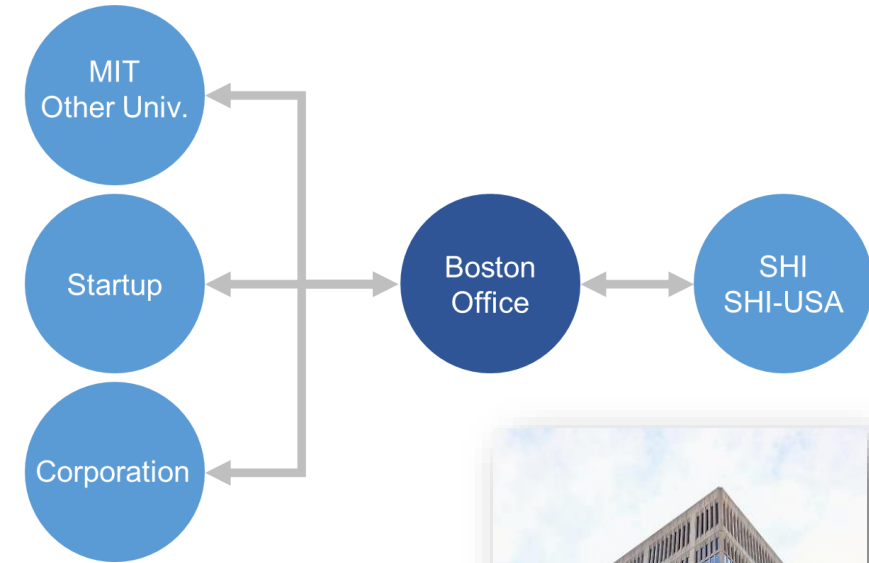
※ 1. コーポレート戦略：新事業探索機能の強化

先進技術調査および新規事業探索・創出を目的としたボストンオフィス (Boston Office Co-Innovation Hub) を開設

世界的なテクノロジーハブの中心として活動するマサチューセッツ工科大学（MIT）の近隣に位置し、革新的な技術やアイデアにアクセスできる場所に SHI-USA Boston Office を開設

MITをはじめとする米国内の大学や研究機関、先進技術を保有するスタートアップ企業等とのネットワークを積極的に構築・強化し、北米地域において4つの重点投資領域を中心とした技術情報の収集にあたる

技術研究所・新事業探索室・各ビジネスユニットと連携し、技術動向や先進的な研究の調査を行うハブとして、当社グループが保有する技術や製品と融合する革新的な新規事業の発掘を目指す



開所式の様子およびBoston Office のあるCIC Cambridgeビル

03

※ 2. コーポレート戦略：経営基盤強化（サステナビリティ）

「中期経営計画2026」
サステナビリティ
基本方針

SDGs、当社Gの2050年カーボンニュートラル目標達成に向けた対応を強化し、社会環境変化のリスクをチャンスへ変えて企業価値向上を目指す

区分	重要課題	2023年 実績	2026年 目標	2024年上期実績
価値創造課題	E 環境負荷の低減	CO2排出量削減（19年比） ・製品製造時：△17% ・製品使用時：△67%	CO2排出量削減（19年比） ・製品製造時：△35% ・製品使用時：△50%	・CDP「気候変動」「水セキュリティ」の分野で「A-」獲得 ・役員・執行責任者「カーボンフットプリント」研修会実施
	よりよい暮らし・働き方の実現	—	（自動化技術の更なる進化）	・SIRMS®提供開始(造船業界の生産性向上支援DXツール)
経営基盤強化課題	S 従業員の安全・健康・育成	・女性管理職比率：2.1% （国内連結）	・女性管理職比率：3.7% （国内連結）	・役員・執行責任者ダイバーシティ経営研修会実施、行動宣言 ・社員向けLGBTQ+講演会実施 ・人権DD：海外拠点従業員の労働環境調査(インドネシア)
	地域との共存・共栄	・社会貢献活動支出額： 1.5億円	・社会貢献活動支出額： 2.0億円	・上期実績は前年比で約2倍(1億円)。そのうち社員参加の社会貢献活動は前年比1.5倍(15百万円)
	持続可能なサプライチェーンの構築	・試行開始	・高リスクサプライヤー調査： 100%	・高リスクサプライヤー調査 50%完了 ・人権DD：海外拠点サプライヤー調査(インドネシア、韓国)
G	ガバナンスの強化	・女性取締役数：1名	・女性取締役数：2名	・サステナビリティ重要課題の改正 ・パーパス策定をふまえたサステナ基本方針、人権方針改正 ・女性取締役2名の就任
	製品品質の確保	・製品に関わる最大 インシデント件数：0件	・製品に関わる最大 インシデント件数：0件	・インシデント件数 0件 ・品質監査をISO適合性評価から実効性評価へ移行

03

「中期経営計画2026」 基本戦略（セグメント戦略）①

セグメント戦略

※について32ページ以降で説明

セグメント	重点投資領域	戦略の方向性		2024年度上期実績
メカトロニクス	ロボティクス・自動化	<ul style="list-style-type: none"> AGV/AMR需要増、ロボット向電動モジュール開発・拡販 HVAC分野向け省エネ、高効率インバータ搭載モジュール拡販 	※3	<ul style="list-style-type: none"> 英国Invertek社にイノベーションセンター設立計画中 KeiganALI国内拠点に担当設置、海外展開準備中 24年度中のTUAKA供給開始、次年度の増産準備着手 壁面走行ロボット実用機開発（TV放映後引合対応増）
	半導体	レーザアニール装置 <ul style="list-style-type: none"> グローバル販路拡大、製造能力、サプライチェーンの増強 精密位置決め装置 <ul style="list-style-type: none"> グローバル展開加速、海外評価拠点設置、次世代機開発 		<ul style="list-style-type: none"> クリーンルーム増設、人員補充 調達リードタイム短縮のための調達先拡大、調達先との情報共有、連携強化 ステージ米国評価センター設置の手続き、詳細設計中
インダストリアルマシナリー	半導体	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発による競争力強化 グローバル展開強化、生産能力、サプライチェーン強化 	※4	<ul style="list-style-type: none"> 2025年市場投入をめざし、イオン注入装置の新製品・新機能を開発中
	先端医療機器	<ul style="list-style-type: none"> 開発機種市場導入と、適応疾患拡大による競争力強化 核医学治療分野での開発（内用療法等）取り組み 		<ul style="list-style-type: none"> 大阪大学核物理研究センターTATサイクロトロン棟で共同研究開始

03

「中期経営計画2026」 基本戦略（セグメント戦略）②

セグメント戦略

※について32ページ以降で説明

セグメント	重点投資領域	戦略の方向性		2024年度上期実績
ロジスティクス & コンストラクション	ロボティクス・自動化	<ul style="list-style-type: none"> セグメントの開発体制を整備し、共通の電動化/自動化/DXなど、先進の要素技術開発に集中 開発協業によって新機種の探索推進 	※5	<ul style="list-style-type: none"> ショベルの自動施工や遠隔操作に生成AIを活用する取組みを、5月開催のCSPI-EXPO 2024（建設・建設測量生産性向上展）で公表 造船業界の生産性向上支援DXツール「SIRMS®」の提供開始
エネルギー & ライフライン	環境・エネルギー	<p>カーボンニュートラル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> バイオマス発電、バイオマスを原料とした持続可能な燃料(SAF等)製造 CO2回収・再利用等カーボンネガティブ技術の開発 <p>再エネ促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 液化空気エネルギー貯蔵設備による系統安定化 洋上風力向け基礎構造物事業化～量産 	※6	<ul style="list-style-type: none"> SAF製造サプライチェーン構築を目指し関係企業と活動中。また普及・拡大に向けた技術の確立に向けて開発継続 バイオマスボイラからの排出ガスを対象にしたカーボンキャプチャーの実証テストに着手 広島ガス廿日市工場内で世界初のフルスコープLAES商用実証設備を建設中 洋上風力事業化組織を発足し、営業活動推進、セグメント内製造体制の整備・強化への取組みを開始

壁面走行ロボット実用機開発と主な特徴

大型鉄鋼構造部の製造現場における作業の自動化を目的として、曲面適応性を含む優れた踏破能力を有する磁気吸着型車輪ロボットを開発

インフラ/プラントメンテナンスの社会動向

- ✓ 老朽化設備維持に関する諸課題
- ✓ DX予防保全による高効率操業
- ✓ 人材不足による自動化要求
- ✓ 危険作業・苦役からの解放



凹凸乗り越え

隅部乗り越え

板厚計測

- 独自の車輪技術による“優れた踏破性”
- ドローンや従来ロボットでは“到達困難な場所への移動”

大型構造物の
加工から保守、解体まで

これまで
自動化が困難とされていた
現場作業での活用を目指す



これまでの開発成果

- ・商船三井と協働で日本海事協会 Innovation Endorsement 認証取得
→乗組員の労務軽減、高所作業リスク軽減、入渠費用削減
- ・2024年4月テレビ東京ワールドビジネスサテライト/トレたま 放映
→引合い、新規問い合わせ対応増加

今後の展開ステップ

フェーズ1

フェーズ2

フェーズ3

現場投入に向けた開発
および実証試験

足場不要を全面的に
訴求し受注拡大

検査以外の
アプリケーション・
海外展開本格化

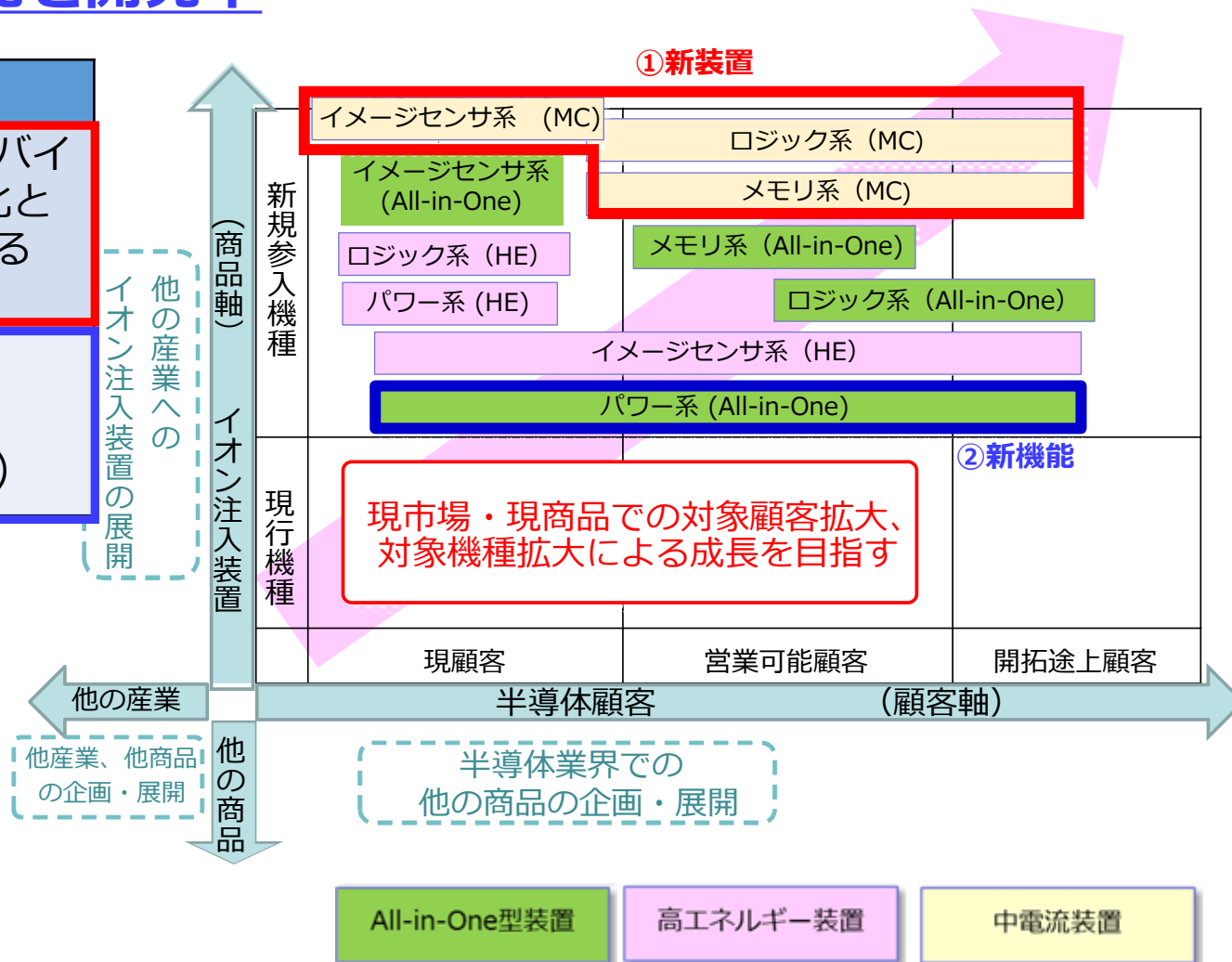
2025年市場投入をめざし新装置・新機能を開発中

		用途	顧客価値
①	中電流 次世代 イオン注入装置	メモリ、 ロジック、 イメージ センサ	注入精度向上によるデバイ スの微細化・高精度化と 高スループットによる 生産性向上
②	高温注入機能搭載 All-in-One型 イオン注入装置	SiCパワー	高温注入による 生産性の向上 (スループット改善)

生産拠点：
愛媛県西条市 (22年10月開所)



イオン注入装置



※ 5. セグメント戦略：

03 ロジスティクス&コンストラクション 「ロボティクス・自動化」

新製品 造船向け生産性向上支援DXツール SIRMS® (SHI-MH Integrated Remote Monitoring System)



工数削減が業績に直結する造船業界で、組立用クレーンの稼働効率向上は優先課題の一つ。従来管理者は、クレーンの稼働状況がわからず、**適正な作業計画立案と実行のために稼働状況を正確に把握したいとの声に応え、開発。**

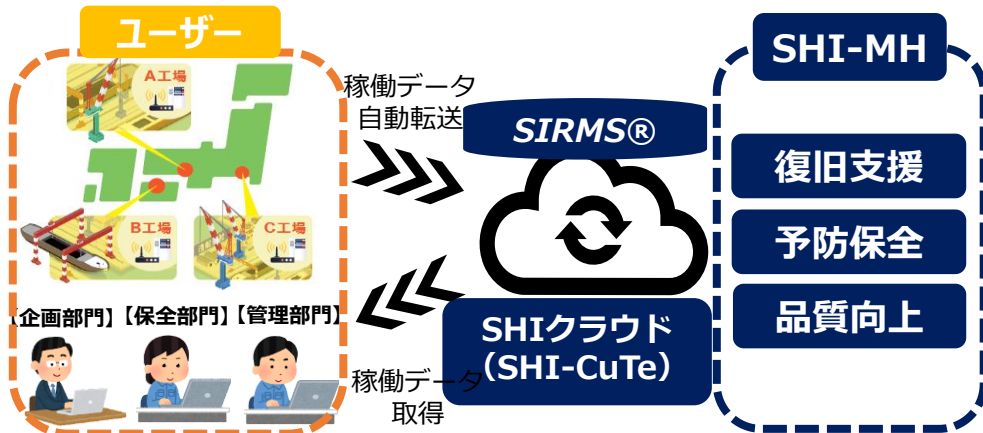
<Before>

- ✓ クレーンが動いているのか？
 - ✓ どのように動いているのか？
 - ✓ 計画通りに動いているのか？
- ▶ **管理者はよくわからない**

SIRMS®
稼働状況
可視化と
データ蓄積

<After>

- ✓ 全工場のクレーンが何をしているのか稼働状況がわかる
 - ✓ 作業の進捗状況がわかる 等
- ▶ **リアルタイムでよくわかる**



安定操業実現

- 自動通報と復旧支援システムでダウンタイム低減
- 稼働データによる交換タイミング予防保全可能

計画精度向上

- 搬送重量や距離など従来取得困難なデータが正確に把握でき、一覧化することで予実差を可視化

情報共有化

- 全拠点、全基の状態を誰でもリアルタイムに確認できるためヌケ、モレ、ムダがなくなる

【生産性向上】

◆ 今後は他業界向け機種へ展開予定

SHI-MH：住友重機械搬送システム株式会社

洋上風力事業推進プロジェクトの設立（2024年3月）

洋上風力発電における基礎構造物や関連船舶事業の強化を目的として、**洋上風力事業推進プロジェクト**を設立

セグメント戦略課題 カーボンニュートラル・再エネ促進を軸とした資源循環領域事業の育成・強化

セグメント内コンピタンスの結合によりシナジー創出
再エネ促進事業を進めるべく組織発足し、事業化展開を推進

洋上風力事業推進プロジェクト

洋上風力基礎構造物事業

住友重機械プロセス機器株式会社（西条工場）

大型圧力容器製造で蓄積した極厚円筒形構造物加工・製缶・溶接技術

営業統括・生産協業
シナジー創出

住友重機械マリンエンジニアリング株式会社（横須賀製造所）

船舶エンジニアリング及び重塗装を伴う大型構造物の建造・量産技術

■ プロジェクト体制によるシナジー

- ・着床式/浮体式いずれの基礎構造物にも転用可能な技術の結合
- ・量産対応キャパシティおよび、東日本唯一最大拠点としての立地メリット訴求

■ 2024年度 主な活動状況

- ・2026年～2027年案件受注に向けた協業対応・体制強化
- ・関係団体活動への参画による認知度向上及び情報収集
- ・次世代浮体開発に向けた技術提携の検討、アライアンス等の検討

■ 事業化計画

2024年 : 組織化・営業開始

2026年～ : 着床式基礎構造物の量産開始

2029年～ : 浮体式基礎構造物の量産開始

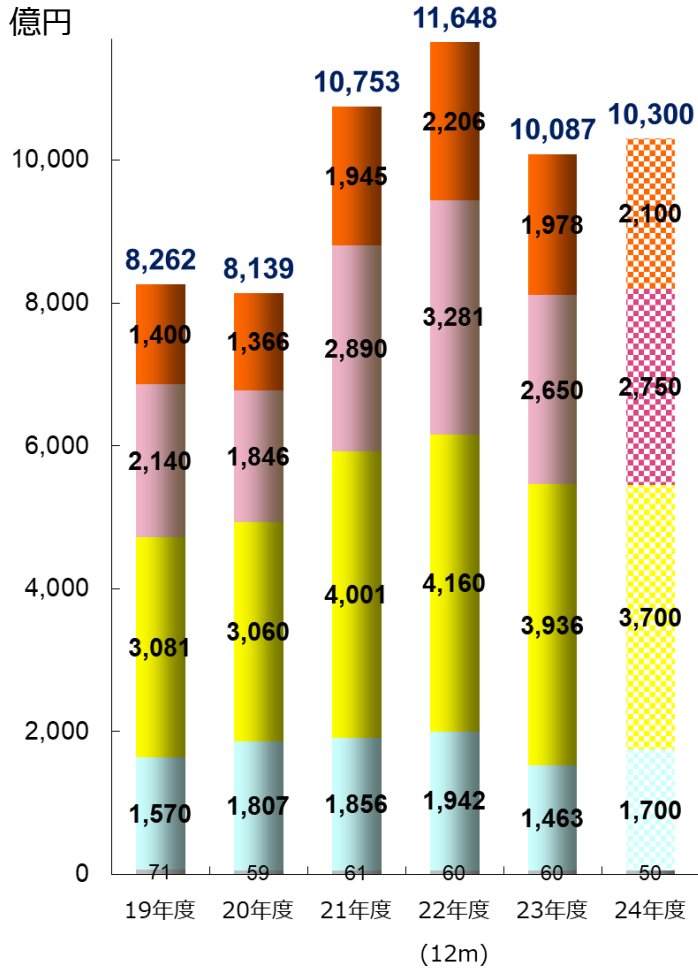
参考資料

財務数値推移(連結)

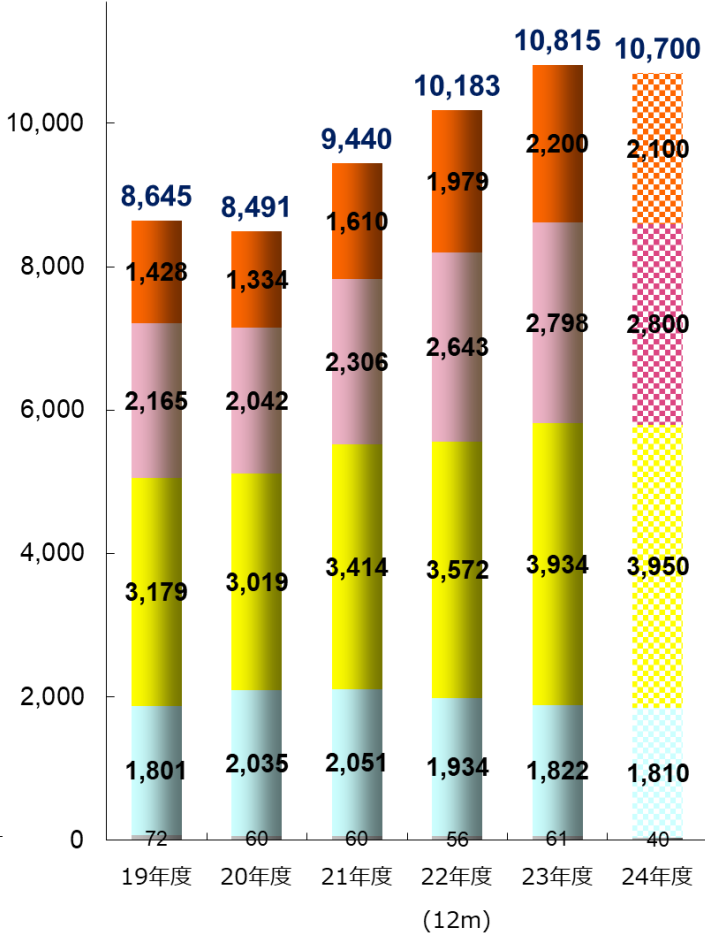
- メカトロニクス
- インダストリアル マシナリー
- ロジスティクス&コンストラクション
- エネルギー&ライフライン
- その他

単位：億円

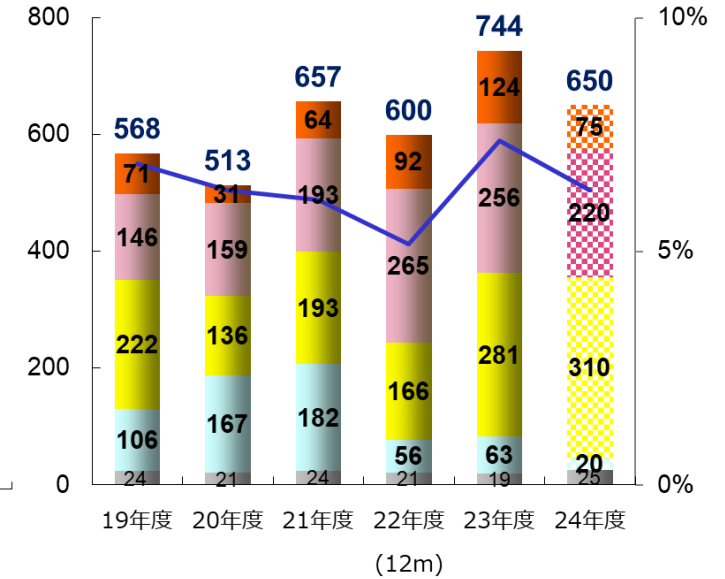
受注高



売上高



営業利益(左軸)・利益率(右軸)

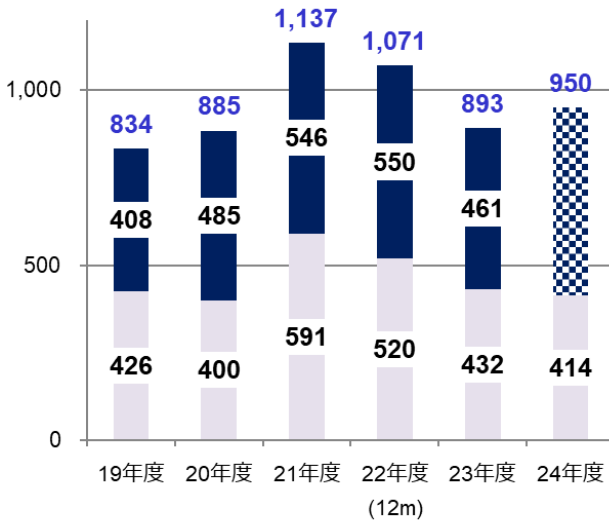




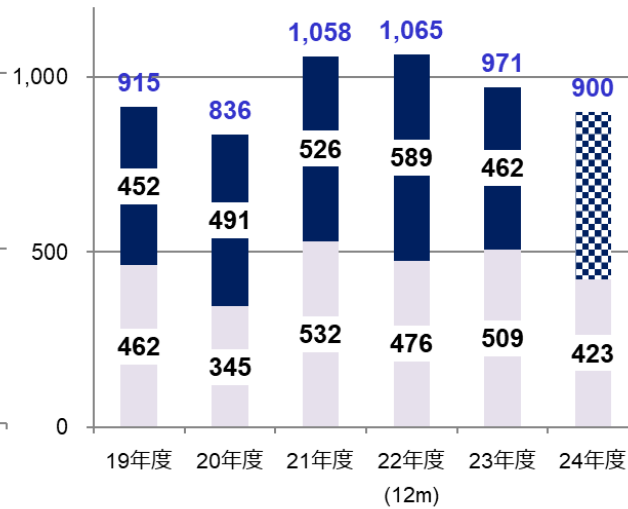
セグメント内訳（プラスチック加工機械・油圧ショベル）

プラスチック加工機械

受注高

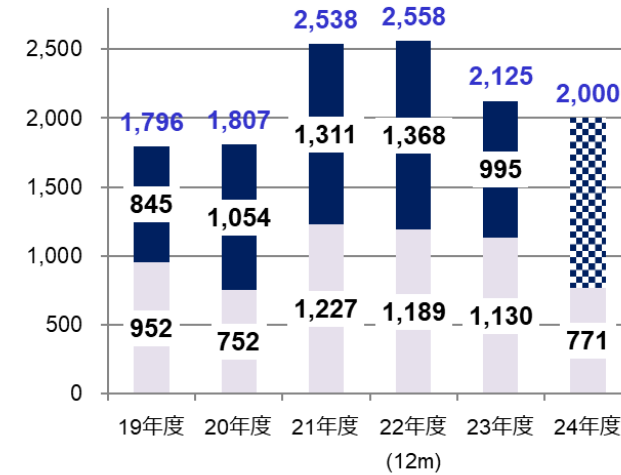


売上高

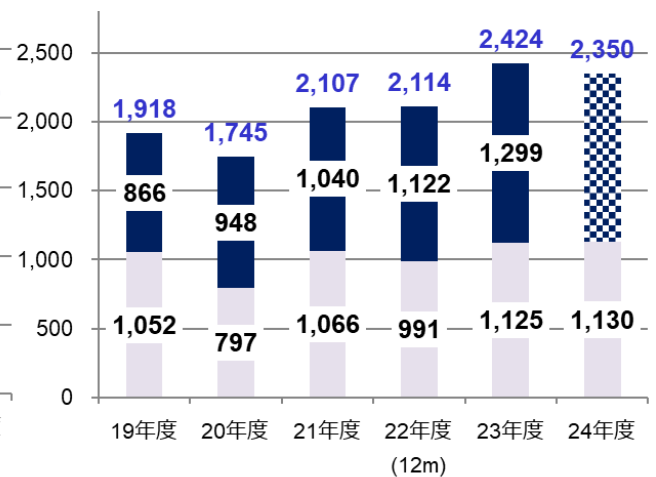


油圧ショベル

受注高



売上高



単位：億円

3-4Q

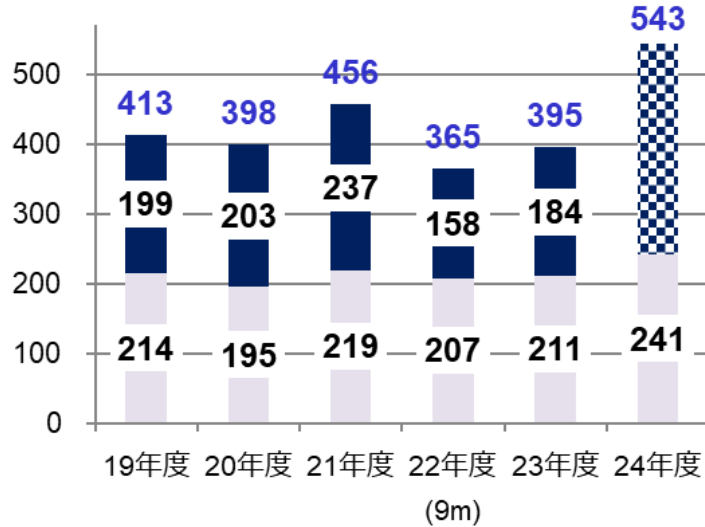
1-2Q



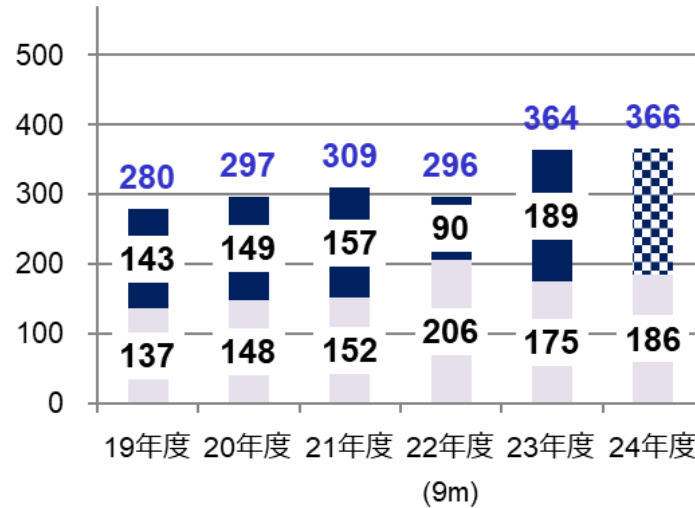
設備投資・減価償却費・研究開発費・人員・為替感応度

設備投資*

*実績はキャッシュアウトベース、予想は決定ベース

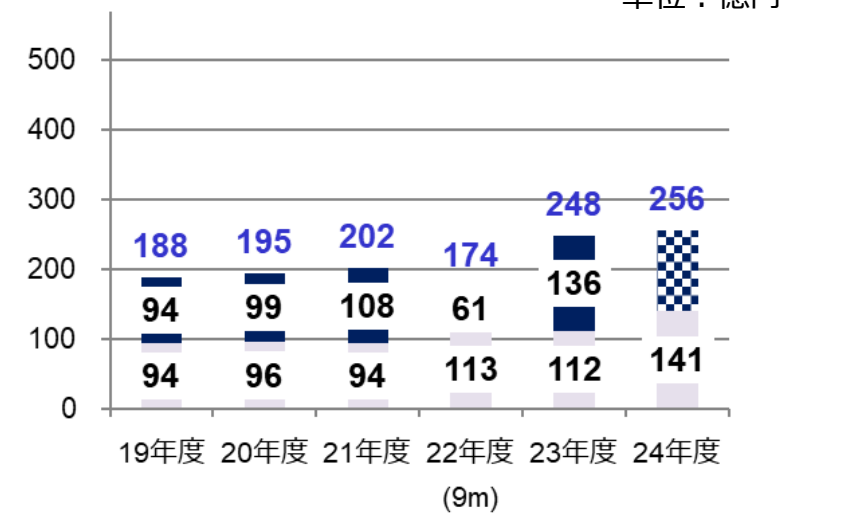


減価償却費



研究開発費*

*実績はPLベース、予想は決定ベース



人員（各年度終了時点）

単位：人	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (6月末)
全社計	24,584	25,211	25,303	25,396

為替感応度（2024年度予想）

単位：億円	ドル	ユーロ	合計
1円の変動による営業利益への影響額*	2.6	1.5	4.1

*2024年度想定レートは¥145（ドル）、¥160（ユーロ）



地域別売上高

<為替レート(ドル)¥154> 単位：億円	2024年度 上期 実績 (2024.1-2024.6)														
	北米	ヨーロッパ	アジア(除く中国)	中国	その他	海外 計	日本	総売上高							
メカトロニクス	213	228	102	69	82	694	316	1,010							
(うち プラスチック加工機械)	42	105	50	104	32	333	89	423							
インダストリアル マシナリー	125	173	190	303	33	823	488	1,311							
(うち 油圧ショベル)	376	73	167	29	54	697	433	1,130							
ロジスティクス&コンストラクション	774	92	224	30	67	1,187	775	1,962							
エネルギー&ライフライン	84	175	72	3	71	405	482	888							
その他	-	-	-	-	-	0	32	33							
合計 / 売上高比率(%)	1,196	23	668	13	588	11	405	8	254	5	3,110	60	2,093	40	5,204
<為替レート(ドル)¥136> 単位：億円	2023年度 上期 実績 (2023.1-2023.6)														
	北米	ヨーロッパ	アジア(除く中国)	中国	その他	海外 計	日本	総売上高							
メカトロニクス	213	274	95	80	80	742	327	1,069							
(うち プラスチック加工機械)	58	146	67	126	35	431	77	509							
インダストリアル マシナリー	127	215	192	294	38	866	473	1,339							
(うち 油圧ショベル)	356	119	133	34	88	729	396	1,125							
ロジスティクス&コンストラクション	674	123	166	34	95	1,093	756	1,849							
エネルギー&ライフライン	84	123	85	5	53	349	464	813							
その他	-	-	-	-	-	0	30	30							
合計 / 売上高比率(%)	1,098	22	735	14	538	11	413	8	266	5	3,050	60	2,050	40	5,101



将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。